

5 活動実績など

災害・防災に関するご相談をお寄せください

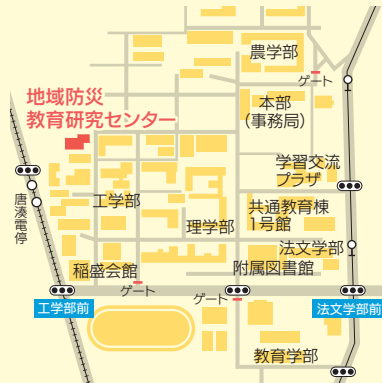
活動項目	活動内容
1 シンポジウム、セミナー、ワークショップなど	①防災・減災に関するシンポジウムおよびセミナー（自治体職員、技術者、住民、学生ほか） ②鹿児島地方気象台と連携した県民防災講演会（住民ほか） ③小・中学校における防災・減災ワークショップ（児童・生徒・住民ほか） ④桜島火山版、原子力災害版の避難所運営ゲーム（ワークショップ）
2 招待講演など	①風水害に備える～地域で取り組む防災活動のヒント～ ②能登半島地震とその教訓 ③南海トラフ巨大地震 ④津波・高潮のメカニズム ⑤南九州の気候変動の特性（特に梅雨期の降水量変動） ⑥障害児等支援スタッフに対する防災対策 ⑦大噴火に備えた調査研究
3 指導・助言等	①土砂災害対策 ②インフラの維持管理 ③文化財の防災 ④災害時のUAV（ドローン）の利活用 ⑤精神科病院入院患者の円滑な避難
4 自治体の委員会等	①原子力安全・避難計画 ②河川の整備・改修 ③治山・砂防事業
5 高校への出前授業、 小中学校での講座等	①留学生の防災 ②防災と安心・安全な住まい方 ③津波の数値シミュレーション ④理学療法と防災との関わり

自治体等から依頼を受けた2024年度活動実績（2025年3月末時点での集計結果）：件数146件、参加者5,854名

鹿児島大学
地域防災教育研究センター

産学交流プラザ（2階） 電車通り側

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40
TEL: 099-285-7234
E-mail: bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp



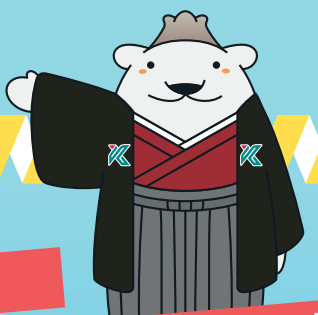
（R7.6月発行）



地域防災力



向上を目指して



災害から生命や財産を守るため
総合大学の“知”を結集し、地域を応援します

鹿児島大学公式マスコットキャラクター

さっつん

鹿児島大学地域防災教育研究センター

Research and Education Center for Natural Hazards

目的

南九州から南西諸島の地域防災力向上のために

南九州・南西諸島域は、これまで梅雨期や台風襲来期の猛烈な雨や風により、土砂崩れや洪水が発生し、生命や財産、社会基盤施設に対して甚大な被害を受けてきました。さらに、火山活動の活発な桜島、霧島山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島をはじめとした火山を有する地域でもあり、豪雨、台風、火山噴火、地震、津波などに起因する多様な自然災害が大規模かつ複合的に発生する可能性の高い地域です。このような地域で、人々が安心・安全に暮らすことができるため、地域防災体制の確立とそれを支える総合的な防災研究・防災教育の推進が喫緊の課題となっています。そこで、鹿児島大学地域防災教育研究センターは、南九州・南西諸島域における災害の防災・減災を図るため、災害の実態解明、予測、防災・減災技術開発、防災教育、災害応急対応、災害復旧復興などの課題に対し、総合大学である鹿児島大学の強みを生かした学際的防災研究の成果を基礎として、地方公共団体や地域住民と連携した課題解決に取り組み、地域防災力の向上に貢献することを目指しています。

鹿児島大学地域防災教育研究センター長 酒匂 一成

推進体制

2011.6.28設置

鹿児島大学 地域防災教育研究センター

各学部・大学院等からの兼務教職員・特任職員

調査研究部門

- ▶ 豪雨、台風、火山噴火、地震、津波等に起因する多様な災害に関する調査研究
- ▶ 災害時の応急対応、災害医療、復旧復興策、防災対策、警戒避難等に関する調査研究

防災教育部門

- ▶ 本学の共通教育、小・中・高等学校、市民講座等における防災教育の企画・運営
- ▶ 地域防災の核となる防災リーダーの養成支援、防災士資格取得支援

地域連携部門

- ▶ 地方公共団体、地域住民と連携した地域防災に係る課題の解決
- ▶ 地方公共団体、自主防災組織、企業等からの防災に関する問い合わせに対応

連携

他大学
研究機関

国・県

市町村

気象台
防災機関等

連携・協定

国や自治体等との連携

- ▶ 鹿児島地方気象台との包括連携協定の締結
 - 大雨・津波防災ワークショップの共同実施
 - 地域防災教育研究センター主催のシンポジウム・セミナーでの講演
 - 鹿大「いのちと地域を守る防災学」での授業
- ▶ 研修会での講演
- ▶ 出前授業
- ▶ 避難訓練における住民指導
- ▶ 委員会への参加
- ▶ 災害対策に関する技術的助言



大雨・津波防災ワークショップ(いちき串木野市)



津波からの避難訓練等(与論町)

プロジェクト

2022~2027

地域課題に応える社会貢献、産学官連携の推進



主なプロジェクトの概要

- I 桜島大噴火による複合災害を中心とした文理横断的な災害・防災研究の推進**
桜島大規模噴火前後の事象発生過程の調査、大規模火山噴火における複合災害の事例収集・分析とメカニズムの検討、市民生活、地域産業、インフラ等への影響評価を行う。
【実績】①降灰・地震の木造家屋への影響予測結果を踏まえた啓発リーフレットの修正(自治体と連携) ②大正噴火時写真のAIによるカラー化・紹介(県立博物館と連携)
- II 災害・防災関係資料のデータベース構築と学内外への提供**
災害・防災に関する研究成果、災害調査報告、防災に関する講演会等の資料など鹿児島大学オリジナル教材をデータベース化し、センターホームページを通じて学内外へ提供する。
【実績】①教材の制作(土砂・河川・地震・津波) ②災害調査報告書・事業報告書のHP掲載
- III 大学の授業や講座等による防災士養成等防災人材の育成**
共通教育科目「いのちと地域を守る防災学(社会人も可)」の授業を通じた防災士養成のほか、避難所運営ゲーム(HUG)による避難所生活支援や、災害時要配慮者支援スタッフへの研修会などを行う。
【実績】①前期又は後期のみで防災士資格受験が可 ②自治体で職員・住民によるHUG実施 ③児童・生徒・学生・留学生にWS実施 ④災害時要配慮者支援のため看護学生にWS実施
- IV 研究成果の地域への実装による地域課題に応える社会貢献**
研究成果をシンポジウムやセミナー等で紹介するほか、地元と連携した防災活動の実施、自治体訪問やニーズ調査等で収集した課題の教員とのマッチングによる解決、さらには鹿児島地方気象台と連携した地域ニーズへの対応などにより、地域防災力の向上を図る。
【実績】①自治体と連携したシンポジウム等の企画・実施 ②セミナーのシリーズ化 ③教員紹介冊子の制作・紹介 ④町内会等の防災訓練で講演 ⑤気象台と連携したニーズ調査・授業・WSの実施